私たちは、道徳銀行です。

2027年3月期 第2四半期
（2026年度 中間期）
決算ハイライト

埼玉りそな銀行
RESONA

2026年11月10日

2027年3月期中間期　決算及び業績目標の概要

- **中間純利益：334億円**　前同比＋93億円（＋38.8%）
  - **4期連続増益、通期目標*1比進捗率 71.8%。過去最高益を更新**
- **コア業務純益*2：497億円**　同＋187億円（＋60.3%）
  - **業務粗利益：844億円**　同＋111億円（＋15.2%）

    円金利上昇に伴う資金利益増加を主因に4期連続増収
    - 国内預貸金利益*3：同+70億円

      貸出金平残：同＋14.6%（政府等向け貸出除き：同+4.1%）

      預金平残*3：同＋1.1%

      預貸金利回り差：同＋11bps
    - フィー収益：同+21億円

      AUM・ローン等が伸長し、過去最高益を更新
    - 債券関係損益（先物込）：同△121億円

      健全性・収益性向上を目的とした有価証券ポートフォリオ入替を加速
  - **経費：△461億円**　同△40億円（費用増加）

    人財・システムへの積極投資を継続しつつ、経費率は低下
- **株式等関係損益（先物込）：107億円**　同+84億円

  政策保有株式の売却が進展
- **与信費用：△9億円**　同△22億円（費用増加）、費消率15.0%

  自己資本比率は健全な水準を維持：14.68%
- **2027年3月期通期業績目標**

  当期純利益を515億円（期初目標比+50億円）へ上方修正、
  一過性要因*4除きの前期実績449億円を上回る水準

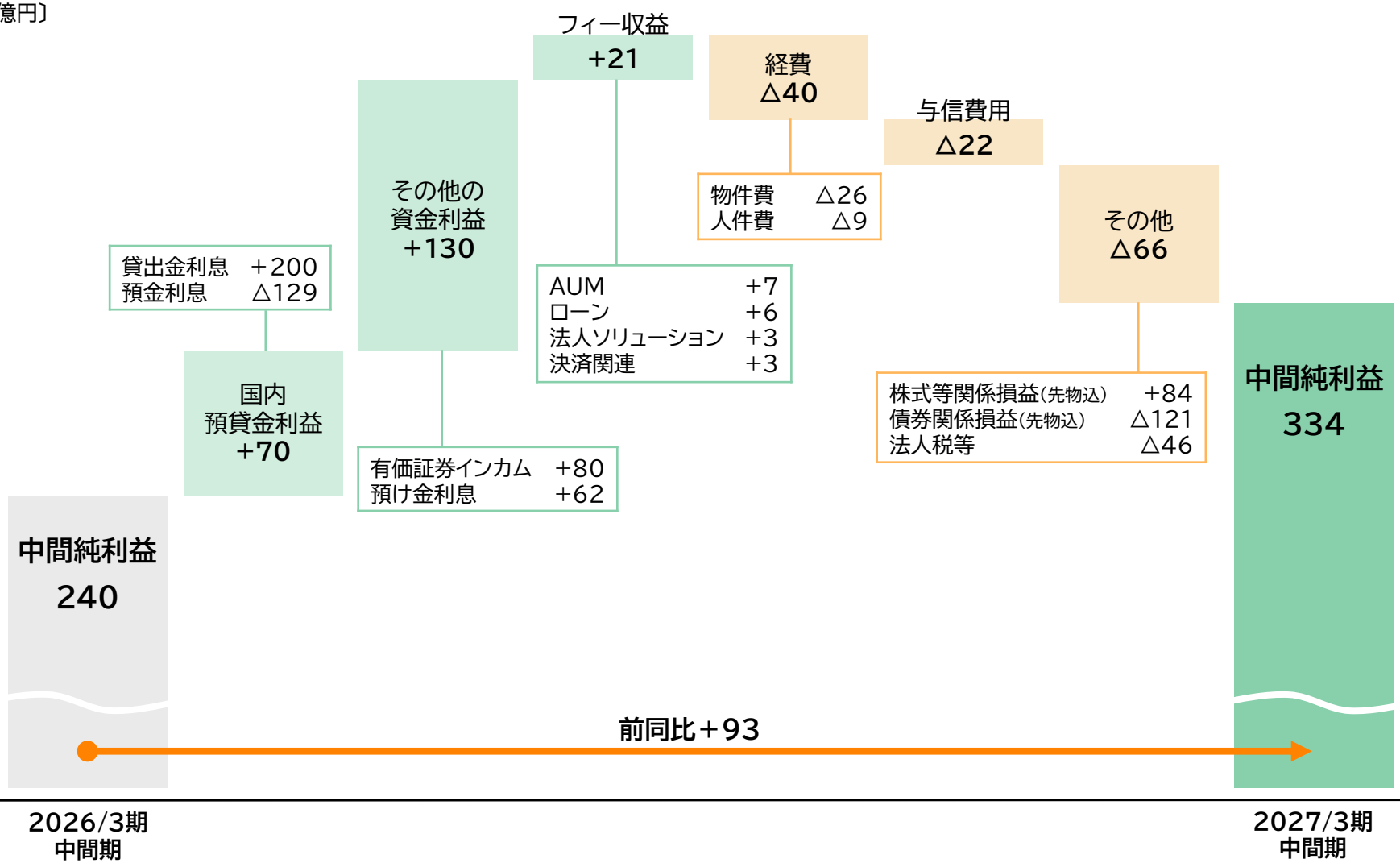
〔億円〕		中間期実績 (a)	前同比 (b)	増減率 (c)	2027/3期 目標 (d)	前期比 (e)	期初目標比※1 (f)
業務粗利益	(1)	**844**	**+111**	**+15.2%**	**1,610**	**+265**	**△85**
資金利益	(2)	769	+201				
うち国内預貸金利益*3	(3)	378	+70				
うち投資信託解約損益	(4)	10	+10				
フィー収益	(5)	179	+21				
その他業務利益	(6)	△104	△111				
うち債券関係損益（先物込）	(7)	△119	△121				
経費	(8)	△461	△40	△9.7%	△945	△94	+5
経費率（OHR）	(9)	54.6%	△2.7%				
実質業務純益	**(10)**	**382**	**+70**	**+22.6%**	**665**	**+172**	**△80**
コア業務純益*2	**(11)**	**497**	**+187**	**+60.3%**			
株式等関係損益（先物込）	(12)	107	+84		160	△187	+145
与信費用	(13)	△9	△22		△60	△58	-
その他の臨時・特別損益	(14)	△1	+5				
税引前当期（中間）純利益	**(15)**	**479**	**+139**	**+41.0%**	**740**	**△19**	**+70**
法人税等合計	(16)	△145	△46				
当期（中間）純利益	**(17)**	**334**	**+93**	**+38.8%**	**515**	**△39**	**+50**
連結*5（億円）							
親会社株主に帰属する当期（中間）純利益	**(18)**	**334**	**+93**	**+38.8%**	**515**	**△39**	**+50**

*1. 2026年5月12日公表業績目標　*2. 投資信託解約損益を除くコア業務純益（実質業務純益-債券関係損益（現物））　*3. 譲渡性預金を含む
*4. 一過性要因：105億円（政策保有株式売却益、債券売却損、新本社建設プロジェクト費用）　*5. 連結対象子会社：（株）地域デザインラボさいたま

中間純利益の前同比増減要因

- 1.00%への政策金利引上げの前倒し影響に加え、地域・お客さまへの価値提供を通じた資金利益・フィー収益の伸長や、健全性・収益性向上を目的とした有価証券ポートフォリオの入替を織込みつつ、4期連続増益。中間期として過去最高益を更新

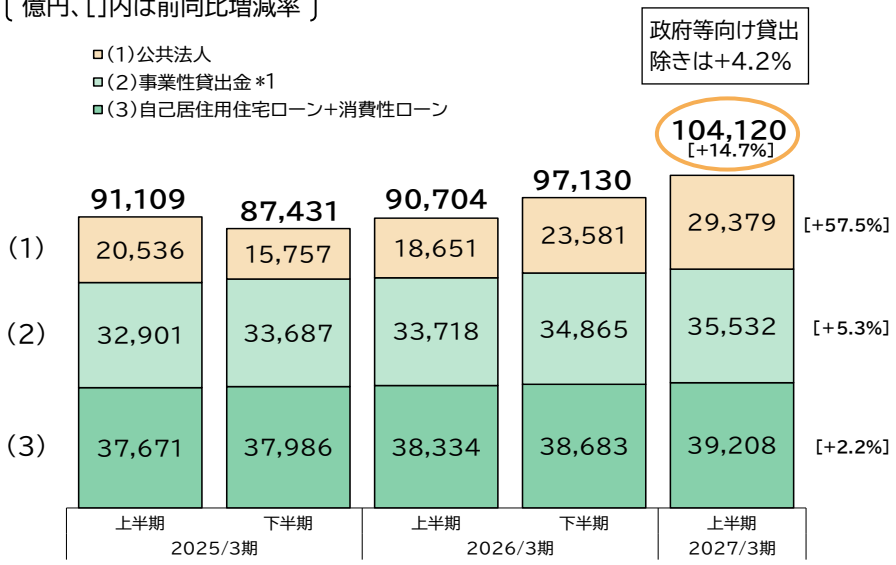
〔億円〕



貸出金・預金の平残・利回り

貸出金平残（全店）

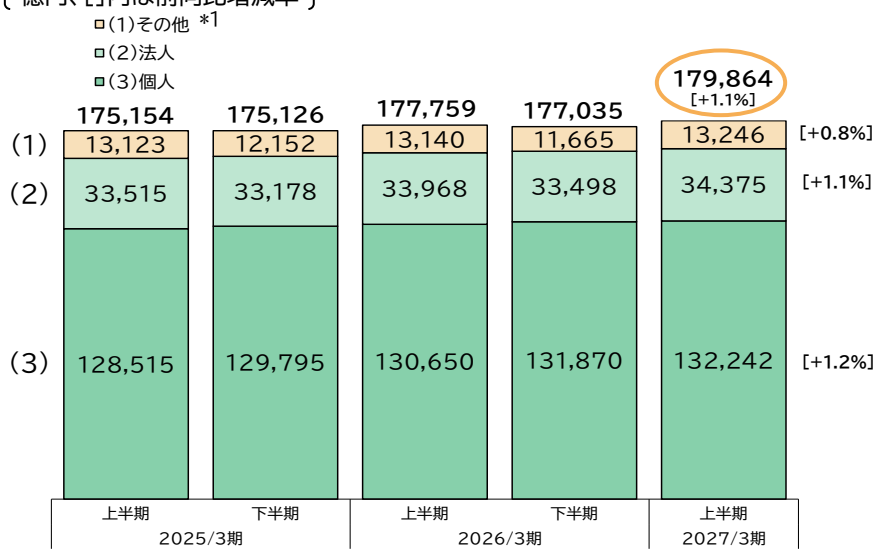
〔 億円、[]内は前同比増減率 〕



*1. 中堅・中小企業、個人事業主、アパートマンションローン等　*2 内訳は社内管理計数

預金平残（全店）

〔 億円、[]内は前同比増減率 〕



*1. 譲渡性預金を含む　*2. 内訳は社内管理計数

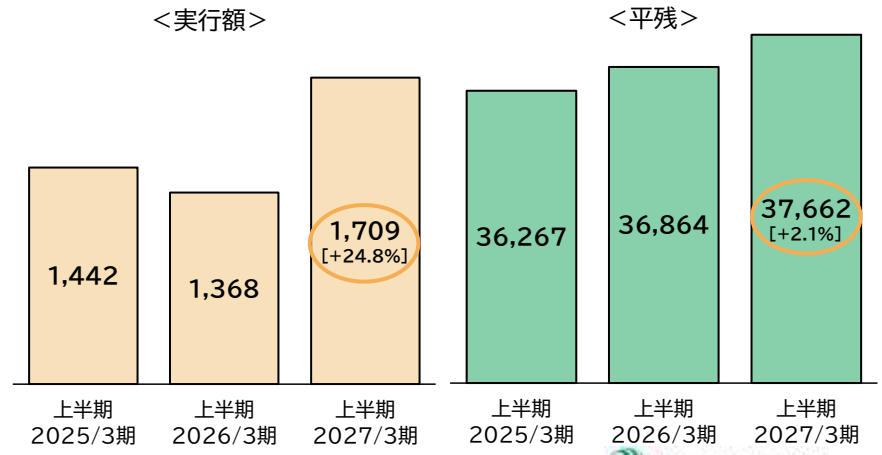
預貸金利回り（国内）

(%)		2025/3期		2026/3期		2027/3期
		上半期	下半期	上半期	下半期	上半期
貸出金利回り	(1)	0.76	0.89	1.03	1.11	1.28
前同比	(2)	+ 0.01	+ 0.14	+ 0.26	+ 0.22	+ 0.25
預金利回り*1	(3)	0.02	0.09	0.18	0.22	0.32
前同比	(4)	+ 0.02	+ 0.09	+ 0.15	+ 0.12	+ 0.14
預貸金利回り差	(5)	0.73	0.79	0.85	0.89	0.96
前同比	(6)	△ 0.01	+ 0.04	+ 0.11	+ 0.09	+ 0.11

*1. 譲渡性預金を含む

自己居住用住宅ローン実行額・平残

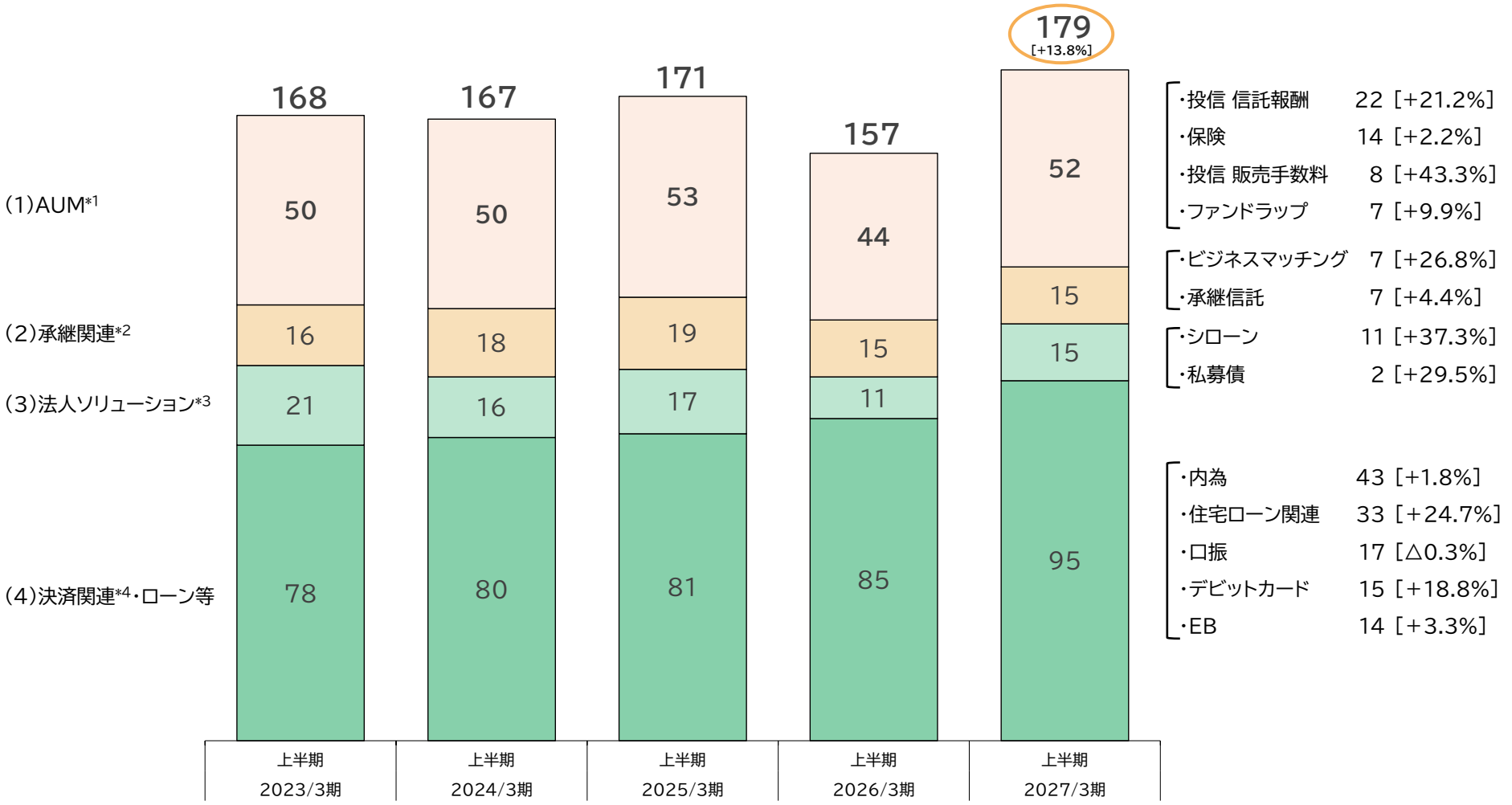
〔 億円、[]内は前同比増減率 〕



フィー収益

➢ 価値共創活動の取組みが定着し、AUM・ローン・法人ソリューション・決済等が伸長。過去最高益を更新

〔億円、[]内は前同比増減率〕

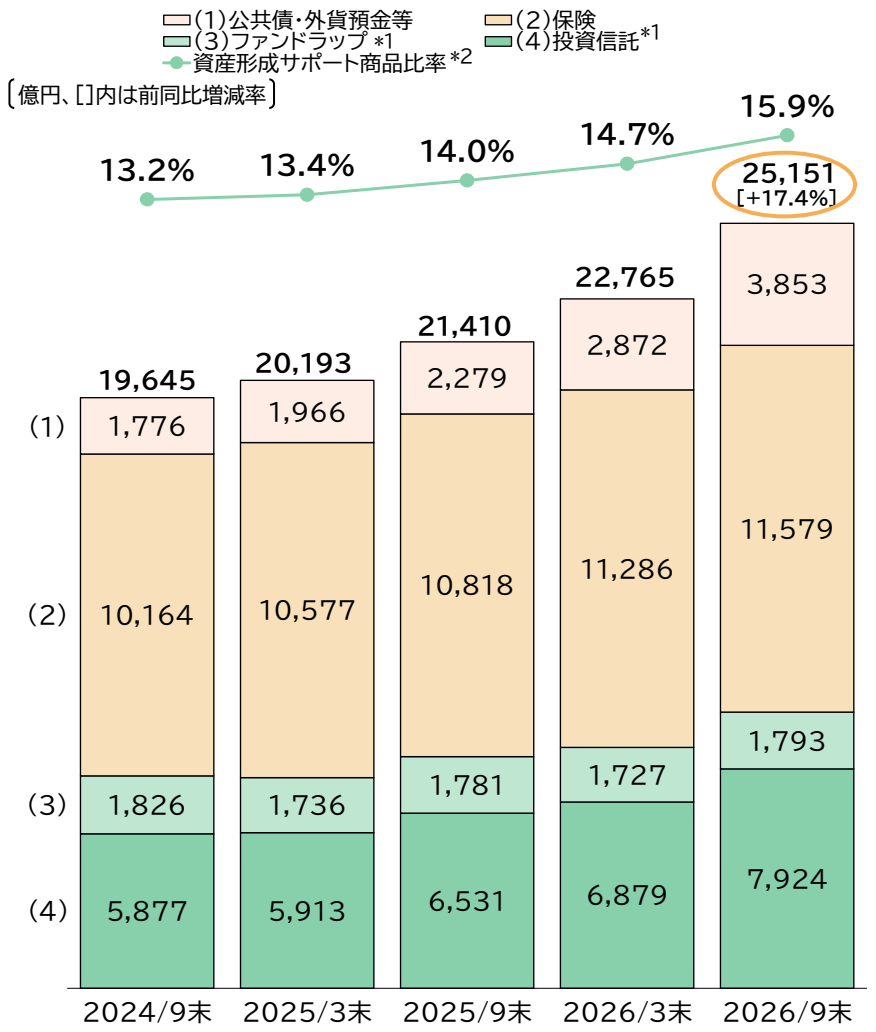


*1. 保険、投信(販売手数料・信託報酬)、ファンドラップの役務利益 *2. 承継信託、ビジネスマッチング、M&A
*3. シローン、私募債、コミット、コベナンツ、一般貸出関連 *4. 内為、口振、EB、デビット、りそなキャッシュレス・プラットフォームの役務利益 *5. 内訳は社内管理計数

個人向け資産形成サポート

商品残高

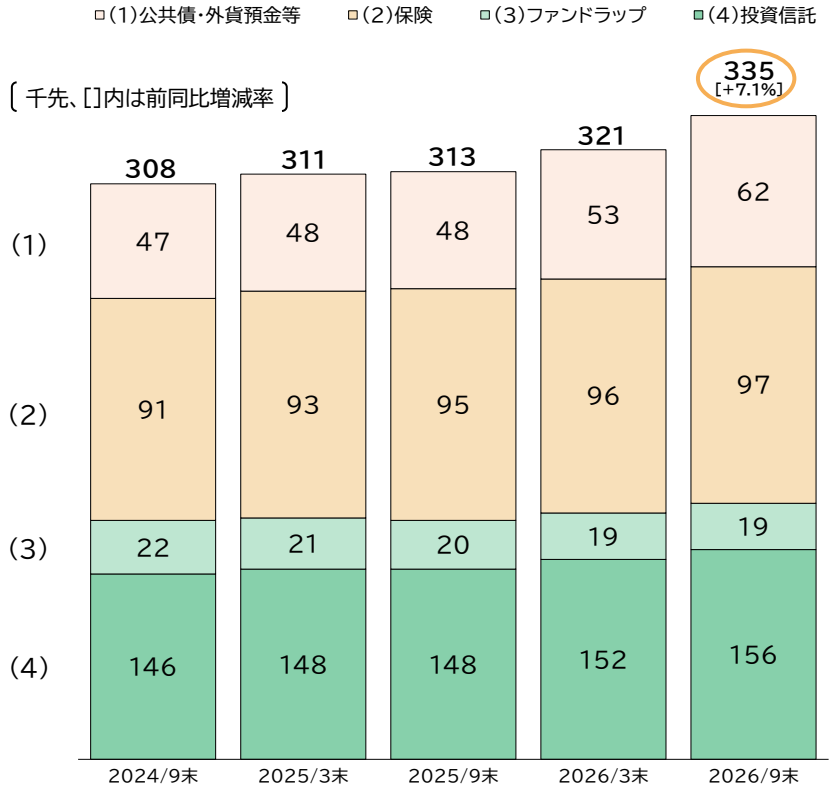
➢ 公共債・投資信託を中心に、商品残高は増加



*1. 時価ベース残高
*2. 個人向け資産形成サポート商品残高／(個人向け資産形成サポート商品残高＋個人預金(円貨))
*3. 内訳は社内管理計数

商品利用先数

➢ 公共債を中心に、商品利用先数は増加



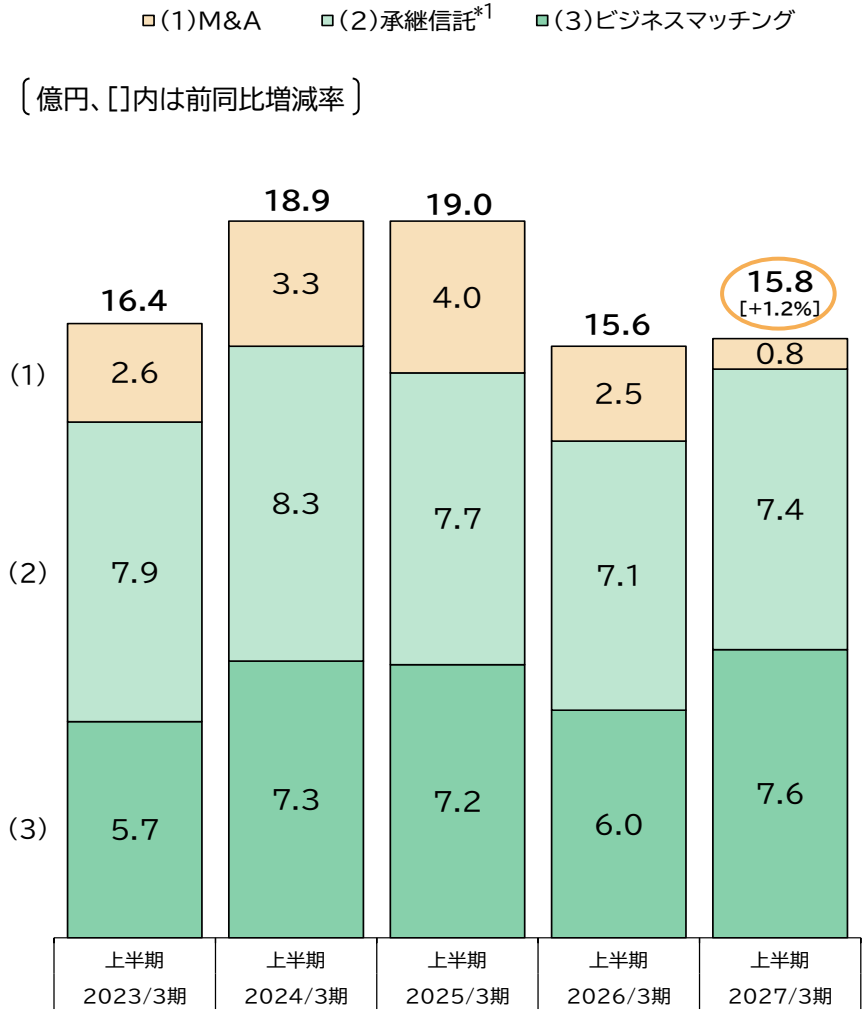
- NISA契約先数*1 ： 130千先（25/9末比 ＋7.4%）
- 積立投資信託利用先数 ： 88千先（ 同 ＋9.5%）
- iDeCo加入者数*2 ： 36千先（ 同 ＋6.7%）
- 企業年金加入者数*3 ： 68千先（ 同 ＋5.1%）

*1. NISA、ジュニアNISA　*2. iDeCo加入者＋運用指図者
*3. 確定給付企業年金加入者数(りそな銀行幹事分)＋企業型確定拠出年金加入者数

承継

承継関連収益

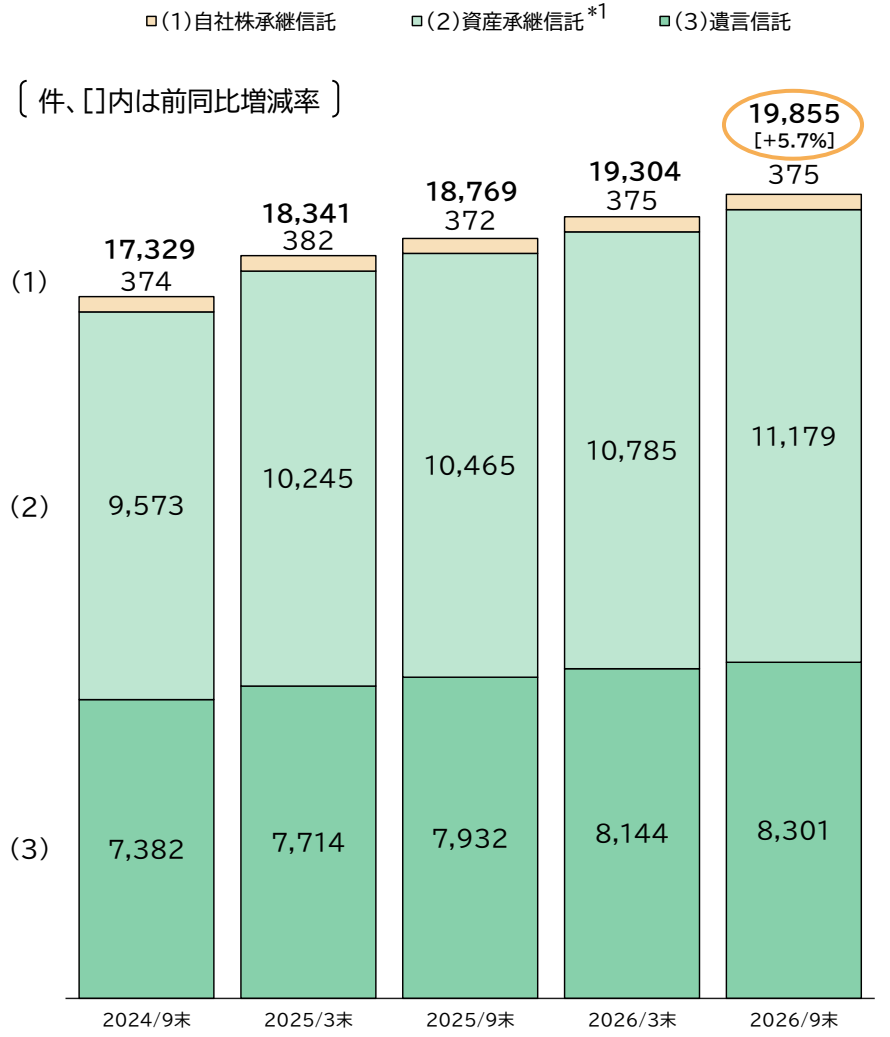
➢ M&Aは減少も、承継信託・ビジネスマッチングは伸長



*1. 遺言信託、遺産整理、自社株承継信託、マイトラスト、ハートトラスト、合同金銭信託運用益
*2. 内訳は社内管理計数

資産承継ストック件数

➢ 承継ニーズの高まりを捉え、資産承継ストック件数は増加



*1. マイトラスト、ハートトラスト

与信費用、不良債権

与信費用

➢ 経営改善支援の取組みが奏功

（億円）		2025/3期	2026/3期		2027/3期	
			中間期		中間期	計画
		(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
与信費用	(1)	△18	13	△2	△9	△60
一般貸倒引当金	(2)	28	17	14	△15	
個別貸倒引当金等	(3)	△47	△4	△16	6	
新規発生	(4)	△42	△12	△29	△14	
回収・上方遷移等	(5)	△4	8	13	20	
						(bps)
与信費用比率*2	(6)	△ 2.0	1.4	△ 0.2	△ 0.8	△ 5.6

*1. 正の値は戻入を表す
*2. 与信費用／金融再生法基準与信残高(期首・期末平均)

経営改善支援

➢ 56カ店へ経営支援リーダーを配置。商工団体等との連携強化により、支援の取組みが拡大

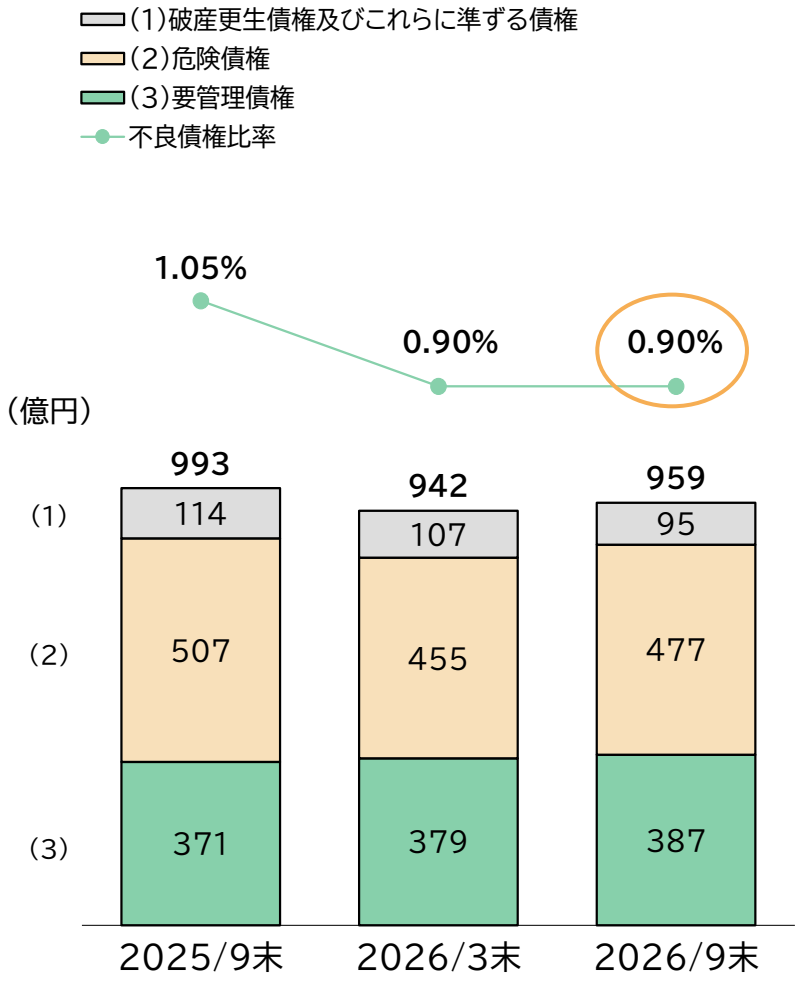
（先）		2025/9末 (a)	2026/3末 (b)	2026/9末 (c)	2025/9末比 (d)
延べ経営改善数*1	(1)	570	614	679	+109

*1. ランクアップ等

不良債権残高・比率

➢ 地域への更なるリスクテイクに取組みつつ、不良債権比率は低位推移

（金融再生法基準）



有価証券、自己資本比率

有価証券

- 更なる環境変化を見据えた前倒しでのポートフォリオ入替を実施。株式を除く評価差額は期間損益*3の範囲内であり、健全性を維持

（億円）		2025/3末 (a)	2026/3末 (b)	2026/9末 (c)	評価差額 (d)
その他有価証券*1	(1)	14,557	16,292	14,578	258
株式	(2)	348	183	168	560
債券*2	(3)	10,734	11,435	10,609	△ 429
国債	(4)	6,541	7,744	7,113	△ 228
（デュレーション）	(5)	5.7年	4.7年	3.8年	-
（BPV）	(6)	△ 3.3	△ 3.3	△ 2.6	-
地方債・社債	(7)	4,193	3,690	3,495	△ 201
その他	(8)	3,474	4,673	3,800	127
外国債券	(9)	2,373	3,227	2,325	△ 131
（デュレーション）	(10)	5.2年	5.0年	5.4年	-
（BPV）	(11)	△ 0.8	△ 1.0	△ 1.0	-
国内投信等	(12)	1,100	1,446	1,475	258
（評価差額）	(13)	336	258	258	
（株式を除く評価差額）	(14)	△ 430	△ 236	△ 301	
満期保有債券	(15)	17,335	18,903	18,552	

*1. 取得原価、市場価格のない株式等及び組合出資金を除く
*2. ヘッジ考慮後の計数
*3. 2026年9月末時点

自己資本比率（国内基準）

- 自己資本比率は健全な水準を維持

（億円）		2026/3末 (a)	2026/9末 (b)	2026/3末比 (c)
自己資本比率*1	(1)	**14.31%**	**14.68%**	**+0.37%**
自己資本の額	(2)	**4,038**	**4,136**	**+98**
コア資本に係る基礎項目の額	(3)	4,258	4,346	+87
コア資本に係る調整項目の額	(4)	△220	△210	+10
リスク・アセット	(5)	**28,204**	**28,175**	**△28**
信用リスク	(6)	22,873	22,528	△345
マーケット・リスク	(7)	458	494	+35
オペレーショナル・リスク	(8)	1,593	1,737	+144
フロア調整額	(9)	3,278	3,415	+136

*1. 単体・経過措置
*2. 連結自己資本比率（経過措置）：14.68%、同（完全実施）：11.80%

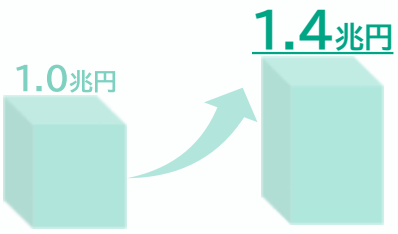
サステナビリティ

持続可能な社会の実現に向けた取組みを加速

環　境

豊かな自然環境と共生する社会の実現

RTF実行額[*2]



◆寄付型融資「道徳銀行ファンド」は、160件・100億円突破[*3]。資金調達を通じた、お客さまの社会貢献活動に伴走

◆新座市・地域企業と連携し、「ネイチャーポジティブフォーラム」開催、環境保全と地域経済活性化の両立を後押し

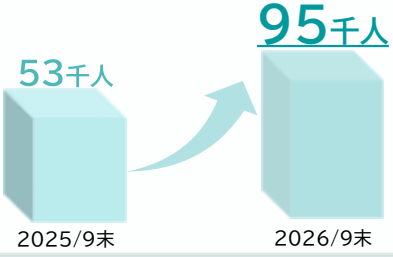
◆食品提供・配送事業者等と連携し、食品資源の有効活用と継続的な食支援に向けた「とどけ！彩の国 愛のうどん配送プロジェクト」開始



地域共助

将来世代にわたる豊かな未来社会の実現

金融教育受講者数



◆地域企業のこども・子育て支援の取組みを先導・伴走する銀行として、こども家庭庁の「こどもまんなかリーディングバンク」に採択

◆埼玉県警や求人サイト運営会社ディップと連携した、高校生向け闇バイト・金融犯罪防止授業を実施、3校・約4,400人が参加

◆ねんりんピック開催に先駆け、大会や競技の認知拡大に向けたイベントを実施。当日運営は社員150名超が参加



*1. 計数は社内管理計数を使用し、累積値を記載　*2. リテール・トランジション・ファイナンス　*3. 26/10末時点、案件エントリーベース

ラボたま

5th ANNIVERSARY

いっしょに成長
ラボたま
地域デザインラボさいたま

設立5周年を迎え、新領域への挑戦と既存領域の深掘りを進め、累計約700件の案件にアプローチし、130件の案件が具現化

- まちづくり 計30件
- 公共施設マネジメント 計16件
- 産業創出支援 計15件
- 河川利活用 計11件
- 文化財利活用
- 観光関連 計11件
- 空き家対策 計14件
- 地域DX 計4件
- ふるさと納税 計5件
- その他 計23件

＼日々の活動を配信中！／

HP Instagram

LABTAMA_OFFICIAL

主な取組み内容

官民連携地域金融力促進事業（類型B）に全国で唯一採択！

日高市・巾着田周辺における観光振興と地域内資金循環の促進に向けコンソーシアムを組成

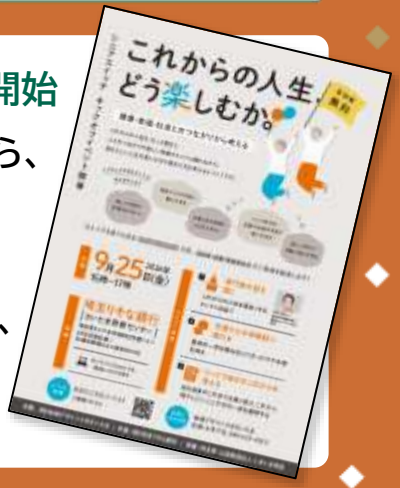
観光まちづくり基本構想案の策定や長期伴走支援を実施



シニア活躍促進事業『シニアスイッチ』開始

シニア世代が地域と緩やかに繋がりながら、新たな交流や地域との接点を持つきっかけを創出

サロンの開催や地域情報の提供を通じて、一人ひとりにあった活躍の場づくりや地域への参画を後押し



りそな コエドテラス

2024年5月開業以来、“埼玉県の産業・観光・暮らしの好循環を創出し、地域の未来をプラスにする唯一無二の共創拠点”を目指し、産業創出や埼玉県のブランディング、賑わい創出に挑戦しています

りそなコエドテラス
Resona Koedo Terrace



来場者数 約63万人

ナイトタイム利用者 約3.4万人

地域課題であるナイトタイムエコノミーに貢献

イベント開催件数 236件

週2回程度、産業創出や賑わい創出に向けたイベントを開催

メディア掲載件数 230件

Resona Kawagoe Base＋会員数 352先



主な取組み内容

01 産業創出事業（1F/3F）

学生、起業家向けイベント開催、県内外のインキュベーション施設連携・相互利用拡大



02 ブランディング事業（1F/2F）

展示会やマルシェ開催等、文化芸術のブランド発信・PR実施



03 賑わい創出事業（屋外スペース）

地域に賑わいを生み出す地域連携イベント等を実施



「道徳銀行」ブランド確立に向けた取組み

私たちは、道徳銀行です。

「地域から最も必要とされ、選ばれ続ける道徳銀行」を目指して
認知拡大及び共感・好感醸成に向けたアウター発信を加速

“認知”を広げるために

分かりやすい発信の強化

- 統一ブランドビジュアルを制作
- 店舗や交通広告等、県民の生活動線上で発信

“共感”“好感”を高めるために

メッセージの発信の強化

- ブランドサイト等で理念や想いを発信
- 取組みを紹介し、共感・好感を醸成

信頼を獲得しファンに

自社媒体

＜文字広告＆道徳銀行パネル＞



＜道徳銀行リーフレット＞



外部媒体

＜交通広告（大宮駅）＞



＜施設広告（ショッピングモール）＞



※交通広告は県内主要駅等計9箇所実施。また埼玉スタジアムの看板広告も実施中

自社媒体

＜道徳銀行ブランドサイト＞





外部媒体

＜新聞記事連載＞



＜詐欺被害防止動画（コンビニCM）＞





中期経営計画の進捗

まち
魅力ある次世代の共生社会づくり



地域課題解決件数*3
454件
329件

決済関連収益*4
102億円
98億円

- 「空き家まるごと解決システム」を通じ、売却や管理、利活用等の課題を50件以上解決。自治体との連携協定は14団体へ拡大
- 店舗等の空きスペースを活用し、多様な学びや地域活動の機会を提供する「地域共創空間」が18拠点に拡大
- デビットカード利用に伴うCO_2排出量可視化サービスをリリース（国内初）。決済を起点に、環境に配慮した行動を後押し

ひと
安心安全・幸せな暮らしづくり



個人預かり金融資産残高
15.7兆円
15.2兆円

資産承継ストック件数*5
19.8千件
18.7千件

- 埼玉県警と連携し構築した、特殊詐欺対策「埼玉モデル」を推進。県内の被害金額が増加する中、お客さまのご理解・ご協力もあり、当社では減少*6
- 「りそなプラス」のサービス第1弾として、くらしに身近なクーポン・優待機能をグループアプリへ搭載、1か月間で会員数8万人突破
- 「SX住宅ローン」を通じ環境等配慮型住宅の普及を促進、新規実行全体の約7割まで拡大

しごと
挑戦と進化・発展の産業づくり



経営改善・再生支援件数
1,312件
644件

M&A成約件数
187件
165件

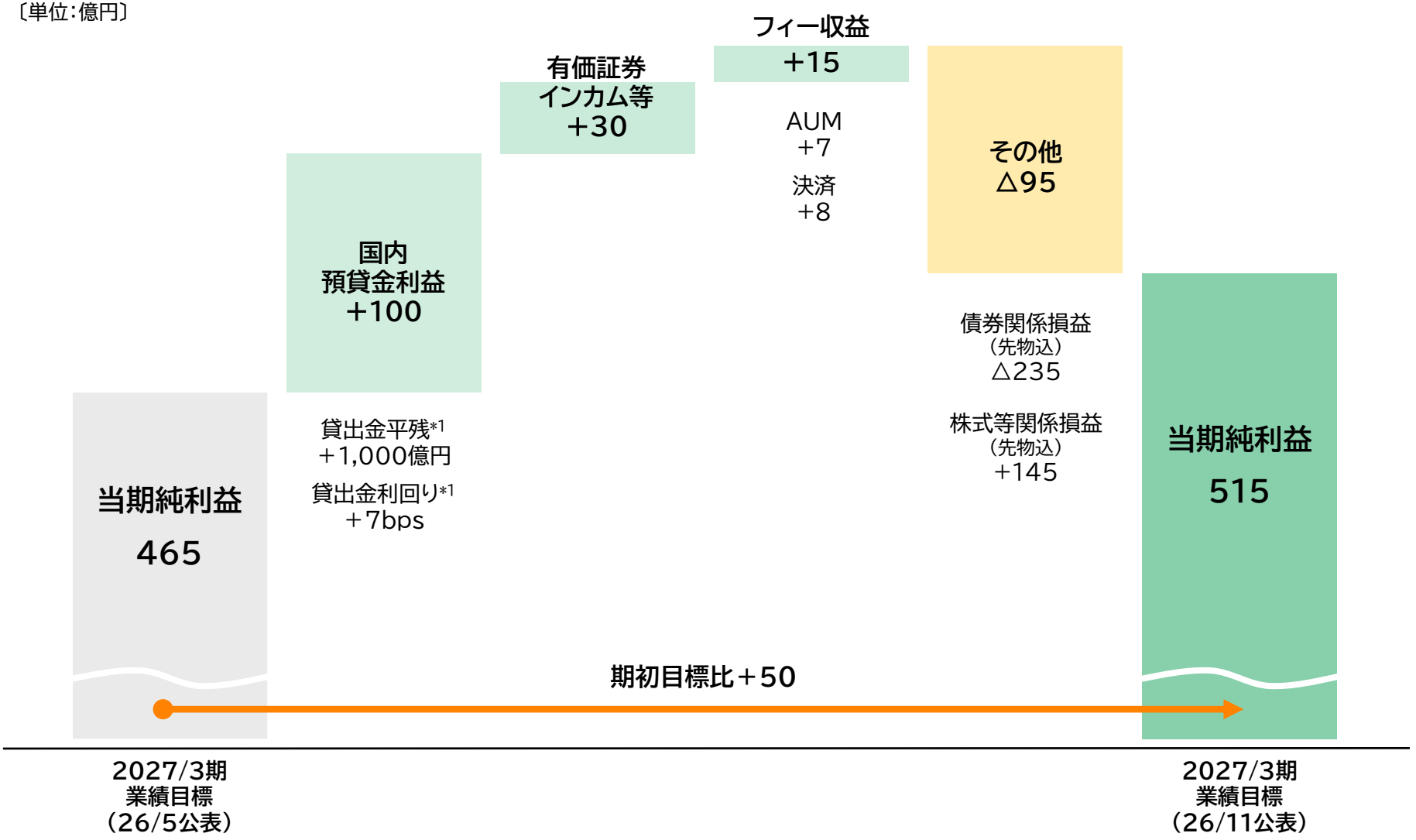
- 5月の制度開始後、企業価値担保権を5件設定。お客さまの事業実態や将来性に着目し、創業から再生までの幅広い伴走支援を実施
- 災害時返済猶予特約付融資「CATローン」の取扱開始、4か月間で24件・25億円実行。金融面から企業のレジリエンス向上を支援
- LBOローンを提供する約500億円のプライベート・デット・ファンド組成に向けた合弁契約締結、企業の構造改革や成長を支援

*1. 計数は、25/9末時点と26/9末時点の比較であり、社内管理計数を使用 *2.決済関連収益、個人預かり金融資産残高を除き、累積値を記載
*3. 自治体の公募案件・国の補助金案件等への取組み件数 *4.内為、外為、EB、口座振替、デビット、りそなキャッシュレス・プラットフォーム
*5. 自社株承継信託、資産承継信託（マイトラスト、ハートトラスト）、遺言信託 *6. 25/9末時点と26/9末時点の比較

（ご参考）2027年3月期 業績目標の組み立て（期初目標比増減）

➢ 26/7公表のりそなホールディングスの連結業績目標修正に合わせ、当社でも業績目標修正を実施

〔単位：億円〕



*1. 政府等向け貸出除き

（ご参考）貸出金・預金末残の推移

（億円、%）		2024/9末 (a)	2025/3末 (b)	2025/9末 (c)	2026/3末 (d)	2026/9末 (e)	2026/3末比 (f)	2025/9末比 (g)	増減率 (h)
貸出金	(1)	91,217	87,519	93,049	102,921	105,231	+2,309	+12,182	+13.0%
（政府等向け貸出除き）	(2)	(80,048)	(81,303)	(82,023)	(84,683)	(85,052)	(+369)	(+3,029)	(+3.6%)
中小企業等向け貸出金	(3)	66,155	67,181	66,915	68,416	68,492	+75	+1,576	+2.3%
同比率	(4)	72.5%	76.7%	71.9%	66.4%	65.0%	△1.3%	△6.8%	
消費者ローン	(5)	45,882	46,337	46,490	47,045	47,569	+523	+1,078	+2.3%
自己居住用住宅ローン	(6)	36,400	36,828	36,969	37,456	37,928	+471	+958	+2.5%
アパートマンションローン	(7)	8,059	8,056	8,031	8,065	8,085	+19	+54	+0.6%
消費性ローン	(8)	1,422	1,451	1,490	1,523	1,555	+31	+65	+4.3%
中小企業[*1]	(9)	20,272	20,843	20,425	21,371	20,923	△447	+497	+2.4%
埼玉県内貸出金	(10)	77,564	78,608	79,148	81,150	81,456	+305	+2,308	+2.9%
埼玉県内シェア[*2]	(11)	43.9%	44.0%	44.0%	44.3%	44.4%	+0.1%	+0.3%	
預金[*3]	(12)	174,174	177,835	176,117	179,662	177,273	△2,389	+1,156	+0.6%
流動性預金[*4]	(13)	137,475	141,451	138,628	142,223	138,581	△3,641	△47	△0.0%
定期・譲渡性預金等	(14)	36,699	36,383	37,488	37,439	38,692	+1,252	+1,203	+3.2%
国内個人預金	(15)	128,855	129,900	130,964	132,015	132,375	+359	+1,411	+1.0%
同比率	(16)	73.9%	73.0%	74.3%	73.4%	74.6%	+1.1%	+0.3%	
国内法人預金	(17)	34,150	34,976	34,613	35,165	34,693	△471	+79	+0.2%
埼玉県内預金[*3]	(18)	172,321	176,117	174,367	178,176	175,537	△2,639	+1,169	+0.6%
埼玉県内シェア[*2]	(19)	46.0%	46.6%	46.2%	46.7%	46.6%	△0.0%	+0.3%	

*1. 中小企業等向け貸出金-消費者ローン *2. 国内銀行勘定ベース *3. 譲渡性預金を含む *4. 流動性預金＝当座預金＋普通預金＋貯蓄預金＋通知預金

本資料中の、将来に関する記述（将来情報）は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。

具体的には、本邦における株価水準の変動、政府の方針、法令、実務慣行及び解釈に係る展開及び変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因などです。

本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。